

2025 年度 キャリアパス多様化支援セミナーⅢ 研究力アピール強化ワークショップ（第2回）
アンケート集計結果

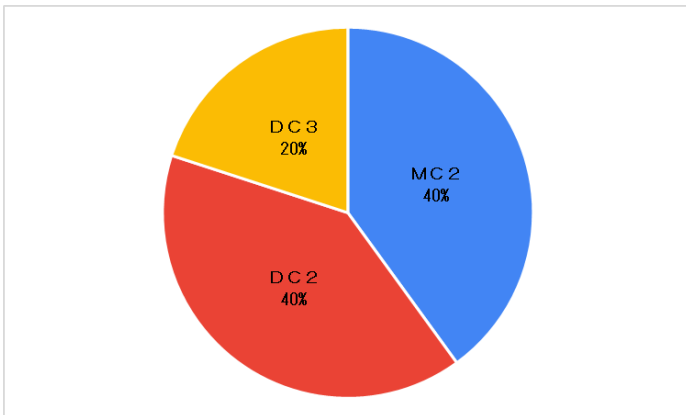
日 時：2026 年 1 月 30 日（金）14:00～16:30

場 所：クラーク会館 大集会室 1

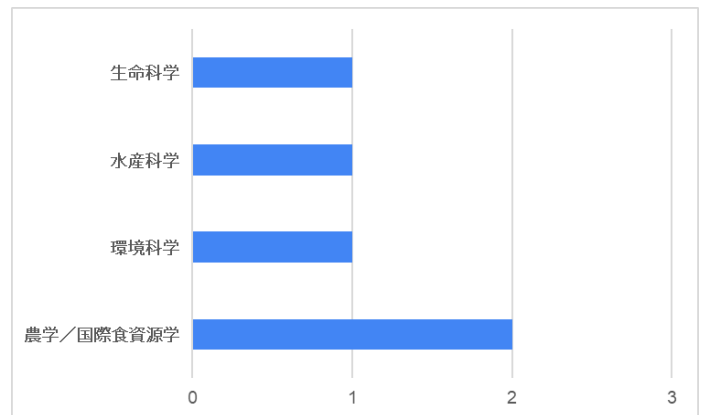
参加人数：6 名

回 答 数：5 名

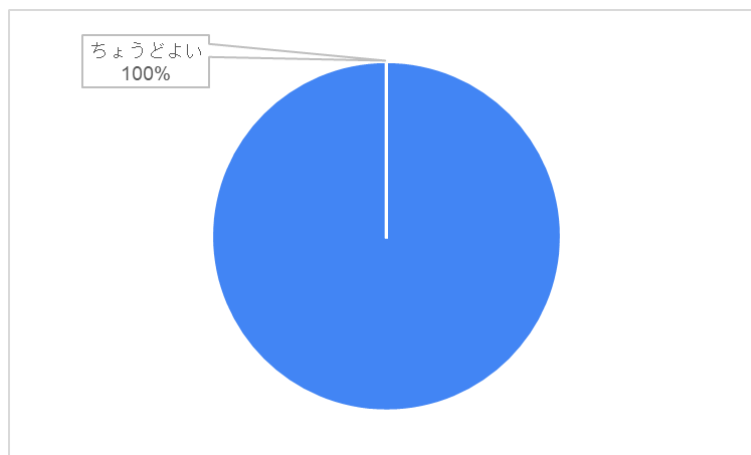
学年



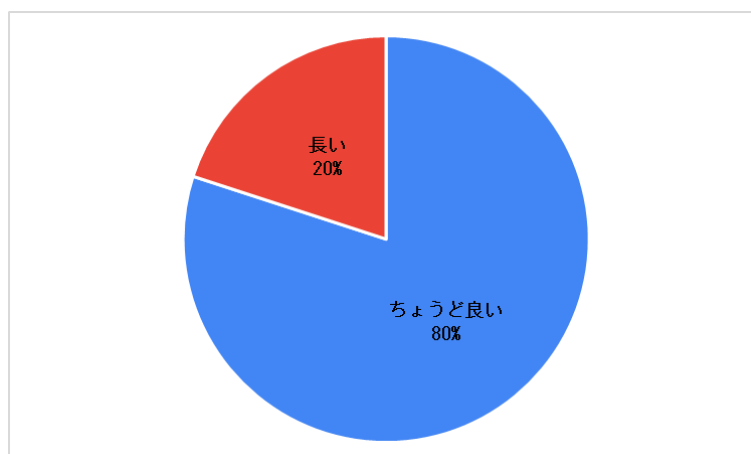
所属



本ワークショップの実施回数（2 回）はいかがでしたか。



本ワークショップの開催時間はいかがでしたか。



本ワークショップを通して学んだことを教えてください。

就職活動における研究発表では、これまで「研究を進める上で工夫していたこと」を具体的に説明するために研究内容を詳細に説明しすぎていたが、それよりも自身の普遍的なスキルや、研究における考え方・アプローチの仕方を説明するべきだと気づくことができた。
第一に、研究力の立脚点である。すなわち、研究課題をどの視点から捉え、いかに思考を深化させるかを明確にする重要性を再認識した。第二に、プレゼンテーションの最適化である。発表の受け手（ターゲット）が求める視点を的確に把握し、それに沿って内容を構成する必要性を学んだ。第三に、資料の意義と独自性である。スライドに掲載する図表やテキストにはすべて必然性を持たせ、配置やサイズに至るまで意図的に設計すべきであることが強調された。
制限された時間内（今回のゼミで3分）でどのように研究紹介をするうちに、自己アピールすること、非常に勉強になりました。そして、企業の視点から研究力を理解するのが大事なこと、企業はどのような人材を求めるのを深く理解できました。
普段の研究プレゼンと就職活動時に求められる研究プレゼンは、強調すべき内容が異なるということ。就職活動のプレゼンにおいては、ただ研究紹介をするのではなく、自分の技術的なスキルや研究活動における困難への対処経験なども示すことで、自身が企業で活躍できる姿を相手に想像させることが必要だとわかった。
企業に向けて研究力をプレゼンする際に強調すべきポイントやスライドの作り方

本ワークショップは今後どのように変えていけばよいと思いますか。

参加前に作成するスライドに関して、こういった点に意識して作成すればよいか、簡単な注意点などが書かれていると、それを意識して作成できると思いました。
そのままよろしいです
時間が許せば、模擬面接のセッションを追加すれば非常にありがたいと思います。
特になし。
3人グループだと2人からのフィードバックしかもらえないので、もっとたくさんの人からフィードバックをもらいたいと感じました。（最後の全員発表のあとにフィードバックの時間を作るなど）

その他感想や弊センターへの意見、要望があればご記入ください。

大変勉強になりました。このような企画をしていただきありがとうございました。
